

教育方針

(1) 校訓

「汗をいわず 命を尊び 日々高きを志す」

“額に汗して働くことのさわやかさを知る人、命あるものへの深い思いやりを持つ人、よりすぐれたものを追い求め続ける人”・・・この理念をもとに教育活動を推進する。

(2) 教育方針

「汗をいわず 命を尊び 日々高きを志す」の校訓に込められた教育理念を実現するため、家庭・地域社会と緊密に連携し、生徒の個性と能力を最大限に伸ばす。気持ちの良い挨拶と身の回りの整理・整頓、時間厳守などの基本的な生活習慣を確立し、健全な精神と逞しい体力で勤労観や勤労意欲の醸成に努め、地域社会を支え、その発展に寄与するところ豊かな人材を育成する。

学校経営の重点(項目)

- (1) 農業高校としての魅力ある学校づくりの推進
- (2) 基本的な高校生活の確立と地域社会に貢献できる人材育成
- (3) 開かれた学校づくりの推進
- (4) 安全・安心な学校づくりの推進
- (5) 教職員の資質向上
- (6) 組織力の強化と新体制の構築
- (7) 職員の心身の健康維持



特色ある学科

- (1) 農業教育を通して但馬社会を支え、但馬の発展に寄与する人材を育成する。

- ア 但馬の農業を支える人材を育成する。
- イ 農業の6次産業化や生産物の高付加価値化に対応する。
- ウ 食文化の継承、地域の特色を生かした農業教育を推進する。
- エ 生涯学習社会を踏まえ、地域農業の先駆者としての義務を果たす。
- オ 農業関係機関との連携強化による専門教育の充実を図る。
- カ 環境保全型農業(農場リサイクル)を目指し、循環型社会を推進する。



(2) みのもりと食料

- ア 但馬のおもな農作物である果樹・草花・野菜の栽培を中心とした学びに加え、食品加工分野の知識・技能を学習し、6次産業化を推進するとともに「但農ブランド」商品を開発する。
- イ 地域の農業をリードし、地域社会の発展や改善に貢献できる農業の担い手の育成を図る。
- ウ 但馬の特色を生かした農産物の研究と地域への協力を行い、情報・技術発信基地としての役割を担う。
- エ シクラメンの高品質生産の研究と新品種の導入を行う。
- オ 高品質の果樹生産と果樹園の充実を図り、野菜・草花苗の供給センターづくりを推進する。
- カ 環境にやさしい野菜の栽培研究を行う。
- キ 養父市と連携し、農業の魅力を伝える「農学セミナー」の充実を図る。

(3) 総合畜産科

- ア 世界のブランド「但馬牛」を中心に、豚・鶏など家畜の飼育を専門的に学ぶとともに、作物に関する知識・技能を学習する。
- イ 未来に向けて地元畜産農家との連携を通して地域のブランド家畜を継承し、地域社会の発展や改善に貢献できる農業の担い手の育成を図る。
- ウ 但馬牛の育種改良をすすめ繁殖肥育一貫経営技術を確立する。
- エ 胚移植をはじめとするバイオテクノロジー技術を研究する。
- オ 飼料イネ・ホールクロップサイレージ(WC S)の安全供給と利用促進を図る。
- カ 安全でおいしい銘柄鶏(但農どり)の生産および販売を促進する。
- キ 豚の繁殖肥育一貫経営、銘柄豚(バナナパイナップル)の生産および販売を促進する。
- ク 口蹄疫・豚コレラ・鳥インフルエンザなどの病気に対する衛生対策の強化を図る。